



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019

改訂日 2024-06-25
改訂番号 10

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Substrate Solution (TMBZ)
製品コード SD0001
登録番号 情報なし
安全データシートの供給者の詳細

供給者

日本：
タカラバイオ株式会社
〒525-0058
滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
電話：+81.77.565.6972
Web：www.takara-bio.co.jp

中国：
Takara Biomedical Technology (Beijing) Co., Ltd.
Life Science Park, 22 KeXueYuan Road, Changping District,
Beijing 102206, China
電話：+86.10.8072.0980
Web：www.takarabiomed.com.cn

緊急連絡電話番号 In case of emergency, call PERS (Professional Emergency Resource Services)
1-800-633-8253 (US) or 801-629-0667 (international).

化学品の推奨用途及び使用上の制限

意図される使用 研究用途に限る。診断には使用しないこと
使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

世界調和システム (GHS) による危険物有害性の物質でも混合物でもない

急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性 (吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性 (吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響はない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない
水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム (GHS) による危険物有害性の物質でも混合物でもない

安全対策
・ 該当しない

応急措置
・ 該当しない
保管
・ 該当しない
廃棄
・ 該当しない

他の危険有害性
情報なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベ ントリ	化審法番号	安衛法インベ ントリ	安衛法番号
TRADE SECRET	企業秘密	< 0.1	既存	記載されてい る	既存	記載されてい る

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)
該当しない

労働安全衛生法
通知対象物質
該当しない

表示対象物質
該当しない

特定化学物質等 (特化則)

毒物及び劇物取締法
該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん (鹼) と水で洗うこと。

眼に入った場合 上下のまぶた (瞼) を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な
徴候症状 情報なし。

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性	情報なし。
特有の消火方法 大規模火災	水噴霧でドラムを冷却すること。 警告：放水では十分な消火の効果を得られない場合がある。
消火活動を行う者の特別な保護具及び 予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急 急時措置	十分換気されているか確認すること。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 安全取扱注意事項 保管 安全な保管条件	産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。
----------------------------------	--

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

シャワー
洗眼場
換気システム。

許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価 基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
TRADE SECRET	-	-	TWA: 1 ppm

生物学的モニタリング指標	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない
環境ばく露防止 保護具 呼吸用保護具	情報なし。 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気及び排気が必要になる。
眼及び／又は顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具	特別な保護具は必要とされない。 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報	
外観 物理状態 色	水溶液 液体 淡黄色

皮膚接触	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
眼接触	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
皮膚腐食性／刺激性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない。
生殖細胞変異原性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。		
化学名又は一般名	日本産業衛生学会	IARC
TRADE SECRET	2	Group 3

凡例
国際がん研究機関
グループ3ーヒトに対する発がん性について分類できない

生殖毒性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。
誤えん有害性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性			
未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0.001 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。			
化学名又は一般名	藻類／水生植物	魚類	甲殻類
TRADE SECRET	-	LC50: ≈16.4mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: 18 - 56mg/L (96h, Lepomis macrochirus) LC50: 10.0 - 32.0mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss)	EC50: 18 - 32mg/L (48h, Daphnia magna)

残留性 分解性	情報なし。
生態蓄積性	情報なし。
オゾン層への有害性 他の有害影響 内分泌かく乱物質情報	分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。
汚染容器及び包装	空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG	規制対象外
------	-------

ADR 規制対象外
IATA 規制対象外

15. 適用法令

国内規制
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)
該当しない
労働安全衛生法
危険物
労働安全衛生法施行令別表第1

化学名又は一般名	区分
TRADE SECRET	酸化性の物

通知対象物質
該当しない
表示対象物質
該当しない
毒物及び劇物取締法
該当しない
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 (化審法)
該当しない
海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律
該当しない
労働基準法
化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び別表第1の2、項目4の1
水質汚濁防止法
人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の3で定める指定物質

国際規制
残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない
ロッテルダム条約 該当しない
国際インベントリー

凡例：
TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
DSL/NDL - カナダ国内物質リスト／非国内物質リスト
EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー／欧州新規届出商業用化学物質リスト
ENCS - 化審法既存物質
IECSC - 中国現有化学物質名録
KECL - 韓国既存化学物質目録
PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
AICS - オーストラリア化学物質インベントリー
NZIOC - ニュージーランド化学物質インベントリー
TCSI - 台湾既存化学物質インベントリー

16. その他の情報

改訂日 2024-06-25
改訂記録 情報なし。
安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例
凡例 セクション8： ばく露防止及び保護措置

TWA *	加重平均 経皮吸収	天井値 +	最大限界値 感作性物質
----------	--------------	----------	----------------

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関 (EFSA)
米国環境保護庁
急性ばく露ガイドラインレベル (AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース (IUCLID)
製品評価技術基盤機構 (NITE)
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構 (NICNAS)
NIOSH (米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus (NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース (NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム (NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース (CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

この安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートのおわり